

第三期 最終講義 np.無料広告学校 講義録

小霜クラス お題【公共広告（どんなものでも）】

(注・受講生の表現案に使用されている画像は基本的にネット上のフリーのものや自分たちで撮影したのですが、もし肖像権などで問題あるものがございましたら、contact@noprobem.co.jpまでご連絡ください。)

◆日時

2011年4月25日(月)

◆出席者

O.E. O.N. K.T. S.A. S.H. Y.Y.

I.H. S.K. S.M. H.YO. M.S. M.H. Y.T 生徒13人(女性6名男性7名)

+ 小霜 だっち

小霜：一年で力がついた第三期広告学校生

一年振り返ってみて思うんだけど、皆できるようになったね。

一期、二期は半年で、正直最後、彼らは力がついたんだろうかと確信を持ち切れずに終わった。

でも三期についてはあきらかにできるようになったなという感じがする。

やっぱり半年を一年にしてよかったなと思った。

O.Eさんとかね、最初この子どうやって教えればいいんだろうかと思ったもん。

でも今やアイデアウーマンだね。

これまで、君たちにいろんな商品のコピーを書いてもらったんだけど、君らからももらったやつは

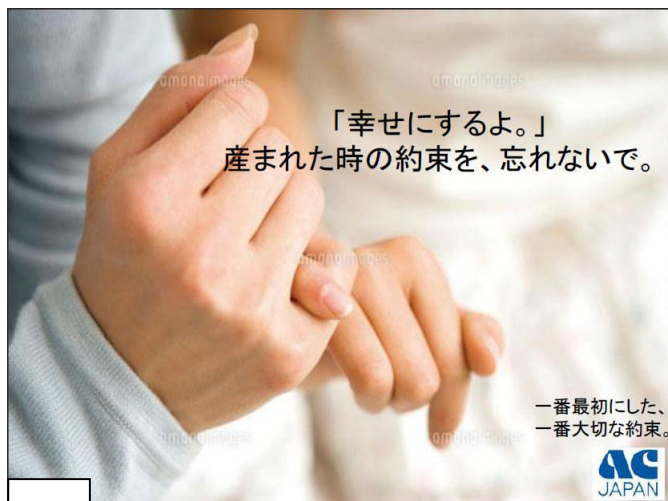
実際の広告でも使えそうないっぱいあってさ、結構自信もってくれていいんじゃないかな。

そんなことを思いました。

【公共広告の課題について】

<O.Eさんの案>

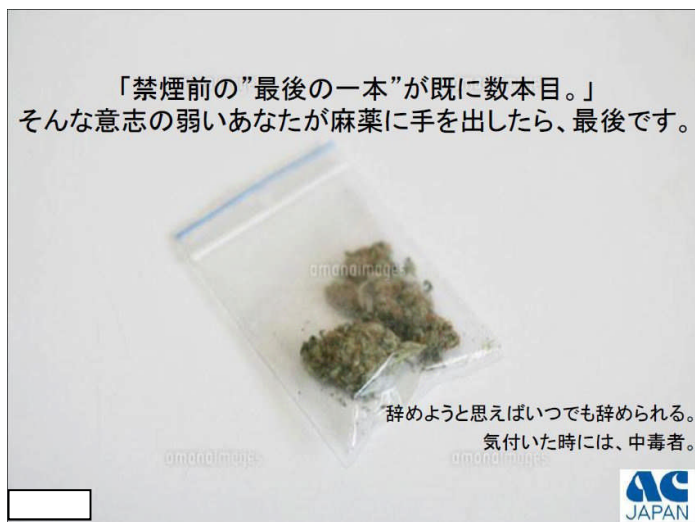
①



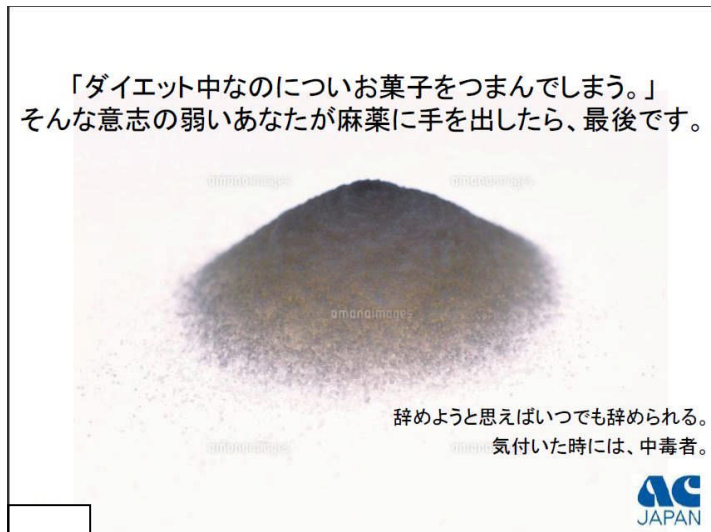
②



③



④



M.S: ④は親が子供に約束してるってこと？

O.E: うん。

S.H: ②はコピーと子どもの笑顔がしっくりこない。

私は3つ目がドキッとした。2つ目はコピーと写真がいまいちマッチしないというか。
「嬉しくも悲しくもなる」という言葉に子供の笑顔があると、しっくりこない感じがあるかなと。

S.K: ③④については、意思の弱い人だけではなく、誰でも手を出したら最後。の方がいいのでは？

僕も3つ目と4つ目はドキッとしたけど、理屈的に意思の強い人も
麻薬に手を出したら最後なんじゃないかなというのがちょっとあって。
一行目で「自分のことかな？」と思うけど、意思が弱い人が手を出したら最後というのではなくて、
誰でも手を出したら最後なんだというほうがいいと思う。

Y.Y: 意思が強ければ麻薬してもいい。ってことになると困る。

「こういう部分あるよね」というアプローチはいいと思うけど、
「じゃあ意思が強ければいいのかよ」ってなったらちょっとね。

O.N: ②はもう少し具体的なコピーが必要かも。

2番目のことは実際にあることだと思う。、
親の一挙一動というのはその人たちが気付かずにやっちゃっていることだから、
ほめるにしてもちゃんと伝わっているのか、とか。
ただ、もうちょっと具体的に分かりやすい言葉があったらいいかなと思った。

Y.Y: ②は今のままで何を伝えたいのかわかりにくい。

何を呼びかけているのかがちょっと曖昧かも。これで何を伝えたいのかと。
③④は「麻薬はやめましょう」というのが伝わるけど。

I.H: 麻薬は恐ろしい。という前提はあるか？

③④は、「麻薬は恐ろしいもの」という前提があるかどうか。

S.K: その前提はあると思う。

I.H: 麻薬に手を出す人はその前提がないから手を出すのでは？

M.S: きっと自分はやめられる。という気持ちに対してのドキッとする表現になっている。

「一回くらい良いかな」という気持ちがあるんだと思う。
最後までずっと続けるとどうなってしまうかは皆知ってる気がするけど、
でもきっと自分はやめられるだろうみたいな気持ちなんだと思う。タバコとかも。
そういうのに対してちょっとドキッとさせる表現になっているんじゃないだろうか。

I.H:おさえのコピーが誤解をまねくのでは？

あとおさえのコピーで「辞めようと思えばいつでも辞められる」というのが、
ぱっと見て「辞めようと思えば辞められるんだ」って思ってしまうのかなど。

小霜： 広告表現では解決できない限界があるという事を知る。人間って難しい。

今回は、正解を出そうという回じゃない。

最後に公共広告というテーマを選んだ理由のひとつは、「人間って難しいな」ということを改めて知ってもらおう
というかね、広告表現では解決できない限界があるんだと知っておいたほうが良いと思ったからなんだよね。
「こう言ったらこうしてくれるだろう」みたいな、人間ってそんな甘いものじゃないと思うんだよ。

虐待している親たちに「ダメ」と伝えても虐待がますます酷くなるという現実。

例えばこの①と②は子供への虐待ということだと思うんだけど、

俺毎年孤児院、養護施設に寄付してるじゃない？

今年から特定の子の学資を出してあげるというふうにしてるんだけど、そういうところには親が育児放棄した子
供とかもいる。虐待受けてトラウマを持った子も入ってくる。

正しく育児できない親は大きな問題。

虐待する親に、何と言えいいか。「そんなことしたらダメ」とか「子供がかわいそうでしょ」とかって言うと、
ますます子供のこと殴るんだよ、そういう人は。それでね、どう言うかというとはめるんだって。

「お父さん頑張ってますね」とか「ストレスたまって大変なのに偉いですね」とかって言うと、
暴力がおさまるらしいんだよね。自分のストレスとか鬱憤を子供で晴らして、子供傷だらけにしてる親に対して
「ほめる」なんていうのはありえない話じゃない？常識的に考えると。

でも、そういうふうにしなないとおさまらない。

「産まれた時の約束を忘れないで」というのは非常にキレイだよ。

でもそういうキレイゴトが通用しない人間がいる。それを知っておいたほうが良いと思う。

「自分ならこう言われたらやめる。」という理屈では当事者には響かない。

虐待であったり麻薬中毒であったり依存症であったりする人にメッセージを発信する場合、

「自分ならこう言われたらやめるよなあ」という理屈で言っても全然響かないと思うんだ。

例えば、俺は麻薬吸わないから麻薬吸う人の気持ちが分からないんだけど、でもおそらくそういった依存症の人は
なにか言い訳を探してる気がする。で、その表現を見たときに、

③④だと、「禁煙前の最後の1本、ぐらいのことだよなあ、麻薬も」とか思っちゃうかもしれない。

「ダイエット中なのにつつまんじゃうお菓子、ぐらいのことだよなあ、麻薬も」とか、

それを言い訳に感じてますます麻薬やめようという気持ちにならない可能性があると思うんだよ。

やめなきゃいけないという理性を持っていても、どこか言い訳を探している。

DV男と同棲してる人って、皆から「あんな男とは別れなよ」とか言われれば言われるほど、

「私がいなきゃダメなんだ」ってくっついちゃうとかさ。いろんな言い訳をしてそこに依存しているっていう。

それに似た心理で、「やめろやめろ」って言われるとやめない、とかね。

言えは言うほど自分の都合いいように解釈しちゃう、とかね。そういうことあると思うんだよ。

キレイゴトの限界。

じゃあどうすればいいかということなんだけど、まずは、キレイゴトの限界があるんだ、ここでOKとしちゃ
いけないんだ、とってほしい。

広告で効くことがないなら他に方法はないか、とか。あるいは本人に言ったってダメだから周囲に言っていこう、とか、もう吸ってる人じゃなくて吸う前の人に言おう、とか。そういうことを考えていくのが大事だと思うんだよね。

俺、震災の時の「頑張ろうソング」とか「頑張ろうメッセージ」とか嫌いなんだよ、深く考えてない気がして。「大変な人たちがいる、頑張れ」っていうのは甘いと思う。自分が気持ちよくなってるだけな気がする。

いや分かんないよ、被災者のなかには励まされた人もいるかもしれないけど、全然届いてない人とか、

「ふざけんな」って思った人もいっぱいいると思うんだよね。

「同情するより金をくれ」じゃないけどさ、「そんなの歌われても」みたいなさ。

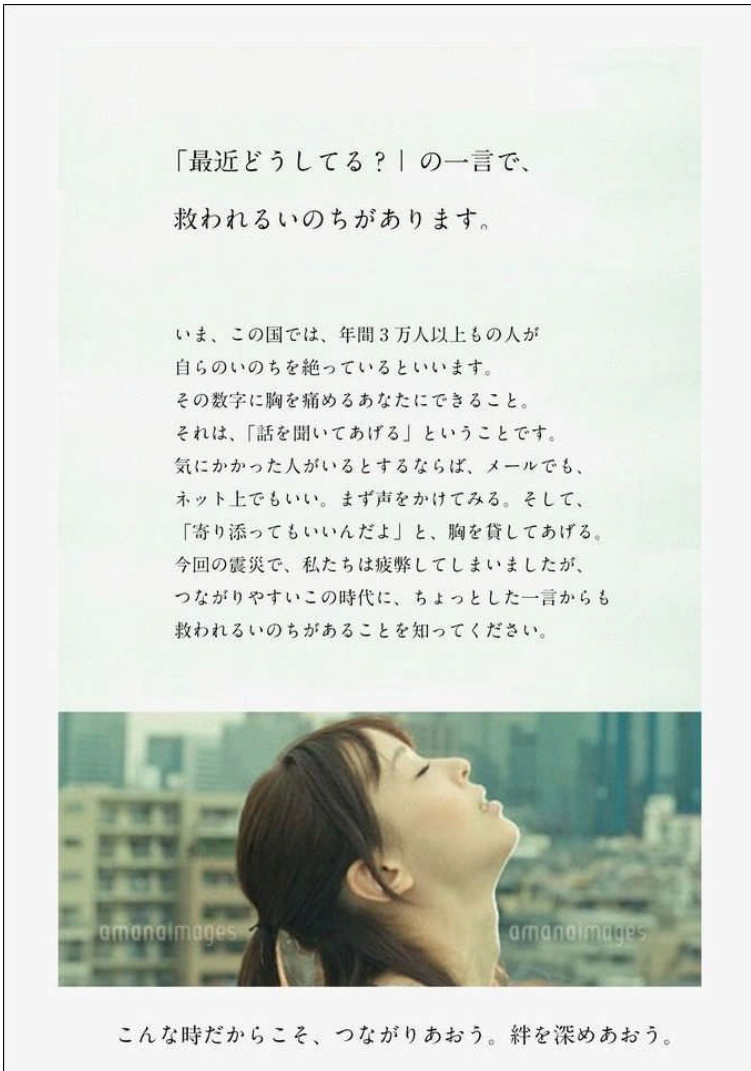
実際現地の人はどうなのかということ考えた上で、どういうメッセージを届けるのか、違うことするのか、そういうことをコミュニケーションのプロとしては考えていかなきゃいけない。

応援メッセージがダメだと言ってるんじゃないよ。

一回考えた上で、でも「これでいいんだ」と簡単に結論づけない、そういう姿勢でいてほしいなと言いたいわけ。

<H.YO さんの案>

①



「最近どうしてる？」の一言で、
救われるいのちがあります。

いま、この国では、年間3万人以上もの人が
自らのいのちを絶っているといいます。
その数字に胸を痛めるあなたにできること。
それは、「話を聞いてあげる」ということです。
気にかかった人がいるとするならば、メールでも、
ネット上でもいい。まず声をかけてみる。そして、
「寄り添ってもいいんだよ」と、胸を貸してあげる。
今回の震災で、私たちは疲弊してしまいましたが、
つながりやすいこの時代に、ちょっとした一言からも
救われるいのちがあることを知ってください。

こんな時だからこそ、つながりあおう。絆を深めあおう。

②

誰かの体のなかで、続きの世界も生きよう。



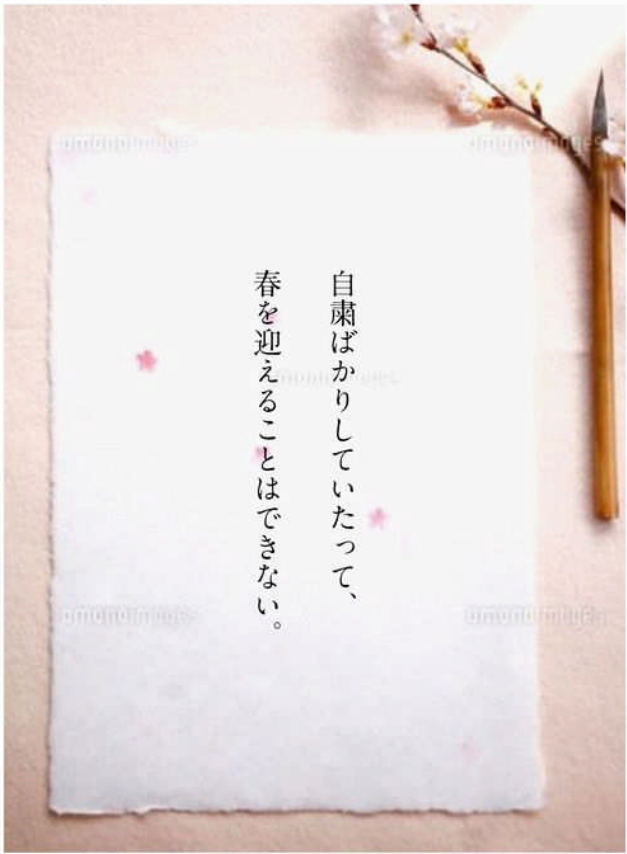
臓器提供意思表示カードの所持率は、現在およそ8.4%。
臓器が不足しています。先行きの見えない毎日ですが、
誰かの命を救うために、あなたの体を未来へと受け継ぐために、
是非このカードを持っていただきたいと思うのです。

今こそ、救いあう意思を。



臓器提供意思表示カード
0120-22-0149
臓器提供意思表示カードの所持率は、現在およそ8.4%です。
臓器提供意思表示カードの申請は、臓器提供意思表示カードの申請書に記入の上、
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1 臓器提供意思表示センター（〒100-0001）までお送りください。

③



自肅ばかりしていたって、
春を迎えることはできない。

少しずつ、前に向かって歩き出しましょう。

O.N: ①は自殺予防にいいと思ったが、震災に意識を向ける事で言葉が軽くなってる。

私は1つ目のコピーは、自殺予防などの時にいいと思っていて。

具体的な方法を提示しているし、もしかしたら本当に救える命があるかもしれないと思ったけど、本文を読むと震災に無理やり向けようとしていて、「つながりやすいこの時代に」という言葉などがキャッチの言葉を軽くしてしまっている気がした。

あと②のおさえコピーの「前に」という言葉を辛く受け取ってしまう人もいるのではないかと思う。

Y.Y: 救われる命が本当にあるのかな。

O.N: きっかけになるような気はする。震災には結びつけないほうがいいけど。

普通の生活の中で、誰からも触れられない生活よりは誰かに話を聞いてもらったほうが、というのがひとつあるのかなと。

Y.T: なんでこのお題をやると思ったの？

H.YO: このお題にしようと思った理由。

自殺防止を考えてみたときに、本人に言葉をかけるよりもまわりの人たちに少しでも気にかけてもらったほうが少しはいいのではと思って、そこをやってみようかと。

①のような呼びかけは実際意味があるのか？

Y.T: こういうので救われるケースって結構あるの？

H.YO: いろいろと調べてみると、話をただ聞いてあげるだけでも鬱などが改善するという話があった。

I.H: 僕はこれが自殺者数を減らすひとつの方法かなと思う。

確かに効果はすぐ見えないかもしれないけど、こういった地道なことを繰り返していくことで効果が出てくるんじゃないかと。

Y.T: 意味ありそうな感じはするんだけど、実際のところは経験者じゃないし分からない。

I.H: こういうのが少ないから、いま年間3万人以上の自殺者がいるんじゃないかと思う。

Y.T: いや、そうかもしれないし、違うかもしれないし、実際はどうなのかなって。

S.K: 近所のおじいちゃんおばあちゃんに声をかけるとか、そっちの方だったら実効性もあっていいと思う。

小霜: ①の表現は、自殺防止より無縁死を防ぐ表現とした方がよいかも。

いま無縁社会とか言ってさ、人知れず死んでいたりするじいさんばあさんがいると。

豊島区だったかな、区でヤクルトと契約して、じいさんばあさんに無料でヤクルト配ったりしてるんだよ。

そうすることで安否確認できる。ヤクルトおばさんをそういう風に活用してるわけ。

最近はコンビニなんか宅配したりしてるでしょ？それも安否確認に役立つのよ。

自治体なんかがヤクルトとかコンビニ宅配を利用して、そういうことをやるケースが増えていくんじゃないかと言われている。

ホームヘルパーとか、自治体の福祉は手が足りないということがある。

この一つ目の表現を見て、自殺ということよりもそっちを連想したのね。ご近所づきあひみたいなことから無縁死を防げるんじゃないか、とか。

自治体もそういうことやりながら、運動を広げていこうっていうのなら分かる気がする。

自殺が防げるかって言うと、意味なく「最近どうしてる？」とか縁が薄くなった友達にしないよね。

「なんだよっ？」「自殺するかと思って」とか言ったら「ふざけんな」ってなっちゃうよね (笑)

まあでも近所の人たちが「最近どうしてる？」って気にするというのは、これからの高齢化社会のテーマになるかもしれないね。

②について、自分の事だった場合「誰かの体の中で生き続ける」という事が嬉しいことか？

2 つ目の臓器提供はこないだ話題になってよね。お父さんだっけ？

自分の子供が誰かの体の中で生き続けてれば嬉しいみたいな、そんな記者会見やってたよね。

これは分かる気がするんだ。ちょっと考え方が宗教っぽいけどな。

ただ、この間のニュースのときはお父さんの気持ちとして「自分の子供の体が生き続けてくれれば嬉しいな」という事でそれは分かるけど、自分が、ってなったときにどう思うか。

自分の心臓が誰かの体で生き続けてるって言われたときに、それを嬉しいことだって思えるかな。

そこまでして生き続けたいって思うかどうかが少しくエスチョン。

それよりかもっと単純に「死んだあと誰かの役に立てる」とか、

「誰かをハッピーにできる」みたいなことにしてみるとか。

あるいは寄付みたいなことでいうと、「お金ではできない寄付ができる」とかいう方がいいような気がする。

あとドナーに関しては法制度の問題が大きいよね。法を整備しないとなかなか難しい。

③の意図は？

3 つ目はちょっとよく分からなかった。

H.YO: 二週間くらい前 (3月) のタイミングで提出すると想定していたので、春が過ぎてしまった今においては意味がないかもしれないかなと。

小霜: 自粛したって実際春は来る。

でも春は来るよね。自粛してもね、実際。

自粛のときは南部美人の酒蔵のオヤジが YouTube にメッセージ出したのがワーツと広まったよね。

「自粛なんかしないで東北の酒飲んでくれよ、花見で」とかっていうさ。

それは結構響いた。自粛やめよう派のいちばんいい武器になった。「東北の人がそう言ってるんだから」みたいな。本当に自粛やめさせようって思うんだったら、一体なんて言えば納得するかのアイデアを探したほうが良いと思うんだ。

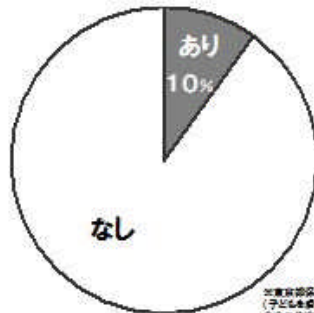
たとえば東北の人間に言われたら自粛してるのがアホらしくなるというかさ。

誰が言えば納得するのか、その人を探してくるとかがいいんじゃないかな。

<S.H さんの案>

①

あなたは、
残りの9割かもしれない。



※東京児童虐待相談センター
(子どもを虐待した親の
自身の実質層における被害体験の有無)

「虐待を受けた人が、子どもに虐待を繰り返す」
そう思っていますか？

子どもを虐待した親のうち、生育層において被虐待経験を持つ人は、
わずか1割です。(上グラフ)

経済的な困難、夫婦の不和、育児のストレスなど、身近な問題が
子どもへの虐待のきっかけになるケースが多いのです。

あなたも、いつか、してしまうかもしれない。
児童虐待が、それくらい身近に潜んでいることを知ってほしい。

②

気づいていますか？



子どもは、必ず受け止めます。

親から浴びせられた、きつい言葉も、暴力も
子どもは必ず受け止めてしまう。
虐待は、子どもの心に深い傷を残します。

子どもが1番たくさん受け止めるものは、
親から与えられる愛情であってほしい。

③



「いい親でいなければいけない」
その思いが、実は
この子をいちばん苦しめることになるかもしれない。

育児によるストレスが、児童虐待のきっかけのひとつになると言われています。

④



**守らなければ、
失ってしまうもの。**

「虐待かな？」と思ったら…
児童相談所全国共通ダイヤル
0570-064-000

O.N: ①は「なるほど」と思うがグラフで表現していることが分かりにくい。

一つ目のものは、中に書いてある知識のほうが「なるほど」と思った。
「虐待を受けた人が虐待をする人というわけじゃない」という。
グラフで表現していることがすぐ分かったほうがドキッとすることがした。

H.YO: ③は気づきはあるが、答えがない。

三つ目の「いい親でいなければいけない、その思いが～」というのは気づきとしてはあると思うけど、その先じゃあどうやって過ごせばいいのかという答えが示されていないので、そういった結論を書いたほうが分かりやすいのではないかなと思う。

O.N: 子供を助けるのは親しかいないのでは？そこを気づかせてあげるとよいのでは。

児童虐待について思うのが、子どもってどんなにまわりが救ってくれても、たぶん親のことをぜんぶ受け止めるから、他の人では助けられないのではないかと。だから「あなたじゃなきゃいけない」ということを気づかせられればいいんじゃないかなと思った。

S.H: 虐待をしている人ではなくて、普通に子育てをしているお母さん、ストレスを抱えながら生活している人を意識した。

②の案について

S.K: 2つ目のコピーは強い思いを感じて、ドキッとすること。何か強い思いがあるのかなと思った。

S.H: 「悪いことも受け止める、でも良いことも必ず受け止めるんだよ」という、なにか希望めいたものを含ませられないかなと思って。

小霜: 受け止めたらどうなると思う？悪いことを。

S.H: たぶん自分の責任なんじゃないかなって思ってしまう気がする。自分が悪いことしてるんじゃないかと。

小霜: そうするとどうなると思う？

S.H: たぶん自分に自信が持てなくなったり、まわりの目を必要以上に気にするようになってしまったり。

小霜: 子供は、親から虐待を受けると、人生に大きなハンデを負ってしまう。

ちっちゃい子って、親しか世界にいないじゃない？親が基準だから、親から殴られたりすると、「自分が悪いんだ」と思うんだよね。
「自分がダメだからこういう目にあうんだ」と思って大きくなるから、「とにかく自分は人より劣ってるんだ」「人から愛されない人間なんだ」と思うようになる。そうすると当然、仕事なんかも自信持てできなくなるし、誰かからプロポーズされたらまったく信用できない。つまり、人生死ぬまでハンデを負いつづけるんだよね。

「実はそうだったんだ。」という風に固定観念を壊さないと人の行動は変わらない。

S.H さんのは広く一般的なお母さんに子供が受け止める事を知ってほしい。と、
そういうこと知った上で、自分の子育てを振り返ってやってほしいという趣旨でしょ？
だとすると、もうちょっと突っ込んで書いたほうがいいんじゃないかという気がする。
暴力を振ると子どもは受け止めてしまうって書いていても、「そりゃそうだよな」って思うだけだから。
「かわいそうでしょ」って言ってる感じがする。でも、「かわいそうでしょ」では済まない話なのよ、実は。
その子の人生ぜんぶを台無しにすることなんだよね。一般の人はそこまでのことは思っていないと思う。
「あの子は大変な目にあってかわいそうね」って思ってる。
でも「かわいそう」という話ではない。その子の一生を破壊してしまうということだから。
むしろ、なんで子どもに対して暴力を振ったり暴言を吐いたりしてはいけないのか、
きっちり言ってくれたほうがいい。皆、「虐待ってこうだよな」みたいな固定観念があるじゃない？
固定観念を壊さない限り、その人の行動は変わらないと思う。
「実はそうだったんだ」というふうに思ったときに人って行動変わるから、
知ってほしいっていうならそこまで持って行ってほしいかな。
「このくらいだと思ってたでしょ、でも本当はこうなんだ」という。
この表現だと、まだちょっとゆるいんじゃないかなと。

S.H: これを作っていて、親に対して脅しめいたものになってしまうところがある。

小霜：情報を与えて、どうするのかまで書くべき。公共広告は行動変容のためにある。

それは書き方の問題で、ロジカルに書けばいいと思うんだよね。
「暴力を振るうってということはこういうことなんだ」と。
まわりから見たら親が悪いけど、子どもから見たら親が基準だから、親が悪いということにはならないんだ、
「だからこういう性格になってしまう」とか、そういう理屈を書いていけばいい。
あとはこれ読む人にどうしてほしいのか、知ってどうするのかまで本当はあったほうがいいのかもね。
「知ってほしい、そして子育てに役立ててほしい」とかって書いてあれば読む人も自分事としてわかるから。
公共広告って、「こうしようよ」という行動変容のためにあるんだから、
そこまでちゃんとおさえたほうがいいんじゃないかな。

<Y.Yさんの案>

①

止

13歳の時、あなたは恋していましたか？
私はむりやり、結婚させられました。



アフリカのニジェールの女の子は、中学生ほどの歳になると、親が決めた人と結婚させられます。

女の子を育てるものの経済的負担、兵士と自分の娘が結婚することを名譽と考える慣習などが、その理由。つまり女の子自身の意思とは関係なく、大人の勝手な都合で。

古く悲しい慣習をなくすために、女の子は学び、力をつける必要があります。

ユニセフが実施する「女子教育支援」にご協力ください。



②

■ 女の子がリーダーになったら 農業収穫高が22%上がった。

家族の、地域の、国を潤すのは、女の子のパワー。



発展途上国では、1年生になった女の子の5人に1人が学校をやめます。差別、設備不足、貧困が、その理由。
しかし女の子が学校に通うことが、未来を拓くと、統計が証明しています。

- ◎女の子が1年多く学ぶと、賃金が10%→20%向上。
- ◎女の子が5年間学ぶと、子どもが5歳を超えて生存する率が40%向上。
- ◎教育を受けた母親は教育を受けない母親より、我が子へ予防接種を受けさせる率が、約50%高い。
- ◎女の子が農業決定権を持つと、収穫高が22%向上。

ユニセフが実施する「女子教育支援」に、
ご協力ください。



M.S:②について、よく「貧困国を救済するひとつの手段は教育だ」という話を聞くが、「女性に教育をすれば」というのは初めて聞いた気がする。

O.E: でもよくあるよね。農業は知らなかったけど、医療かな。どこかで聞いた気がする。

Y.Y: ユニセフが2年前くらいにキャンペーンをやっていた。

それ以外にもフォスターペアレントとかそういうところが女子教育のためのプログラムとか、いろいろとやっていたんだけどまだ足りないんだろうなっていうのはある。

M.S: 抱えてる課題が目をはかれるし、書かれている内容が「そうなんだ」と思えるからすごくいいなと思った。

I.H: 具体的にどのように協力すれば？

これを見た人は具体的にどう協力すればいいのか？

Y.Y: 募金かな。

募金かな。あっちには行けないから、「ユニセフや NGO の活動に寄付してください」っていうのが結論かな。発展途上国によって問題はバラバラなので、ぜんぶは無理だからこうやってピックアップした。

M.S: 知らなかったから事実の強さがある。

知らなかったということもあるけど、パッと見たときに事実の強さがあるなと思った。説得力がある。

小霜: 寄付するつもりになるか？

「よし、ユニセフに寄付するぞ」っていう気持ちになる？

M.S: それをいま考えていて、まだ分からないというか。。

小霜: なぜ寄付する気持ちが芽生えないのか？

最終目的は寄付ってことじゃなか。これを見て寄付する気持ちが芽生えてくるかどうか。「芽生えた」という人がいないなら失敗かな。逆にいうと、なんで芽生えないんだろう。

O.E: 「へー」と思っただけで終わってしまう。

M.S: 知識欲は満たされるけど、そもそも募金をあまりしたことがないから、

これを読んでも募金に行こうという気持ちにならないのかも。

小霜: 表現されている情報と目的がリンクしていないということか。

ここに書いてある「へー」という情報と、「寄付しようかな」という気持ちになることがリンクしてないってことかな。

O.E: あと女の子に特化してるのが気になる。ユニセフ募金したら女の子だけに届くのか？

Y.Y: 女の子だけのプログラムがあることはある。

女の子ということだけで学校行かせてもらえなかったり、強姦されてしまったりということがあるので。

O.N: 農業収穫高というところが、少し遠い話に聞こえる。

「農業収穫高が 22%上がった」というのは、ここでいま生活しているとその大切さがあまり分からなくて、ちょっと遠かった。でも「教育を受けた母親は、教育を受けない母親より、わが子への予防接種～」っていうのは、まわりに子どもがいるので身近に感じられた。

S.H: 結婚させられるのと募金が結びつかない。

募金と直接結びつかないのは、たとえば自分が500円払ったからといって、向こうの女の子がむりやり結婚させられずに済むのか、むりやり結婚させられずに済むためにはお金が必要なんだ、ってということが直結しないからかなど。

S.K:目的が人権の啓発ならよいのでは。

ゴールが「募金」ではなく「人権の啓発」みたいなことだったら分かる気がする。
昔、イオンが「学校作りましょう」みたいな支援をしていて、その広告を作る手伝いをしたことがある。
キャッチは明るく前向きに「頑張ろう」というようなものしか挙がってこなかったから、
こうやって数字出してポジティブにやるのはいいなと感じた。

小霜：人は無意識がアクセルを踏み、意識がブレーキをかける。

人が何かしたいと思うとき、意識と無意識でいうと、無意識がアクセルを踏むと思うんだ。
無意識がアクセルを踏んで、意識とか理性がブレーキをかけるっていう、そういう役割だと思う。
たとえば夜飲んだあと「ラーメン食べて帰ろう」っていうのは理性じゃないけど、「でもこの時間に食ったらヤバいかな」っていうのは理性だよな。
キレイな女の子がいて「この子とセックスしたい」っていうのは理性じゃないでしょ？「でも彼女にバレたらどうしよう」っていうのは理性だよな。

「募金したい。」は理性ではない。

で、募金したいというのは理性じゃない気がする。理性というのは逆に、「オレこんな金だして生活大丈夫か？」っていうこと。
「なんかもうお金出さなきゃ！」って情動的になるのはなんだろうかと考えていくのが正しいと思う。
震災で皆お金だしたのは理屈じゃないと思うんだよな。ワーツと家が流されちゃって、
そういう悲惨な映像を見て、やらざるを得ない恐怖心みたいなものから募金してたかもしれないよね。
恐怖に立ち向かうとか、何かしないと恐怖に飲み込まれてしまうとか、ものすごく無意識の情動から「お金出さなきゃ」ってなってるんじゃないかなと思うわけ。

寄付したい衝動をおこすためにはどうするのか？

一つ目の表現を見て思ったんだけど、俺は「これは文化なんじゃないの？」っていう気がした。
婚活とかしなくていいし、これはこれでその国の文化なんじゃないかと。
日本だって少し前まで家同士で結婚決めたりしてたわけだし。
二つ目の表現だけど、すでに成功してるじゃない？
「22%上がった」っていうのは「成功した」ってことだよな。
そこに「募金しよう」っていう情動が生まれるかどうか。
理屈で考えれば、「こういう成功事例があるけど他にはこうなってないところがいっぱいあるんだよ」
っていうことだと思うんだけど、やっぱり理性はアクセルをかけないんだよな。
これを見て「やんなきゃ」っていうふうにはなかなかかならない気がするんだよな。
じゃあ「ユニセフのプログラムにお金出さなきゃ」っていう気持ちになる情動を、
どんなものを見せれば生み出せるのか。

Y.Y: じゃあ、もっと大変なところを見せたほうがいいと。

小霜： そうかもしれないよね。この中でいうと「女の子が5年間学ぶと～」と書いてあるじゃない？
すごく乱暴に言うと、5歳未満の子どもがいっぱい死んでる写真がワーツとあったほうが、「なんかしなきゃ」という情動が生まれるかもしれないよね。
それで押さえコピーで「女の子が5年間学ぶと～」って書いてあればさ。

人間を動かす一番強い要素は、恐怖心や不安。

やっぱり人間を動かすいちばん強い要素は、恐怖心だったり不安だったりする。
震災のときは恐怖とか不安が蔓延したから、「なんかやんなきゃ」とって皆なっと思ったんだよ。
お金払うのって自分の身を削る行為だったりするから、もっと感情とかに訴えるほうがいい気がするなあ。
このむりやり結婚させられた女の子がどんなに想像を超えた不幸な生活を送っているか、とかさ。
たとえば「ゾフィーの話を読んでください」とって、「この人がむりやり結婚させられてどんなに大変か」
みたいな話を書いてあって、「女性の地位向上するのに手助けをしてください」とってあると、
読んだときに「なんかしなきゃ」とっていうふうに思うかもしれないよね。

はじめにうまくカタチにしてしまうとそこで満足してしまう危険性がある。

Y.Yさんは「上手なコピーを書こう」とってというのが先にあるから。
俺はコピーって下手でもいいと思うんだよね、人の気持ちを揺さぶる言葉であれば。
それをどこで拾ってくるかが大事な気がする。どこをコピーにしようかって見極めてから、
コピーを洗練させていくっていう順番でやっていけばものすごく力のある表現になると思う。
逆にしちゃうと、なんとなくカタチになっちゃうからさ。それで「できた！」って気持ちになっちゃう。
表現ってカタチにしてしまう怖さがあるのよ。妙にカタチとして綺麗だと、
できた感が出ちゃって「これでいいや」とってなってしまう。それはキケンなこと。
あえてブサイクに表現してみる。本当にラフな状態で判断していくっていう。
最後の最後、99%確信持ててからちゃちゃっとカタチにしていくのがいい。

<I.H さんの案>

①

差別をしないと決めた人が
ほら、差別をしている人を差別している。

差別は誰にでも簡単にできてしまう。

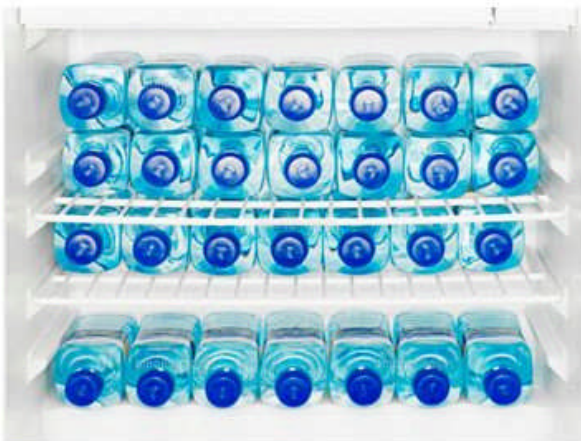


風評被害は、
間違った情報や偏見による
差別から生まれます。

情報を正しく見きわめ
慎重に扱うことが
いま求められています。
ひとり一人の心がけで
風評被害を抑えましょう。

②

もったいないより、みっともない。



買い占めた商品は使い切れないともったいない。
それ以上に自分のことしか考えていない行動は
はっきり言ってみっともないです。
あなたのその姿も誰かが見ているかもしれません。

節度ある買い物にご協力ください。

③

生まれた場所が違っていれば、
一緒に笑っていたかもしれないのに。



人はよく知らない相手のことを
怖いと感じてしまう。
そして、恐怖は人に差別をさせる。
だとしたら、
正しい知識を持つことで
差別はなくせるかもしれない。
その差別に根拠はありますか。

①は風評被害と差別がつながっていない。

M.S: ①は風評被害のことを言ってるから、キャッチが違うと思う。

I.H: 普通に風評被害を減らそうと言うのではなく、違う言い方したほうがいいかなと。

②はぱっと見て分からない。

だっち: ②は、言いたいことはわかるけどビジュアルが水だともったいないと思わない。ダメにならないし。
それが生理的にわからなくて、もっとカビがはえてるパンとかお米とかがあると、
みっともないなあと思うかも。

S.A: 買い占めする人って「もったいない」という感覚を持っていないと思う。

Y.T: 「もったいないし、しかもみっともないんです」ということを言いたいんだよね？
たぶんパッと見てそう認識されないというところがある。

O.N: 風評被害は差別と直結していない気がする。

I.H: 風評被害って遠くにあることな気がしていて、あまり一人一人がどうこうしようと思えないと考えた。
差別ならば風評被害より身近だし、考えるきっかけになるかなと思う。

I.H: 差別と風評被害をつなぐ言葉が必要なんじゃない？急に話が変わった気がする。

③は意味がわかりにくい。

O.E: 三つ目のこれは何？意味が分からない。

Y.Y: 部落差別のこと？

I.H: 差別全般。今で言うところと福島から来た人がどうかってということも含めて。
在日外国人でもいいし。

O.E: 「その子の生まれた場所が同じだったら一緒に笑ってたかも」ってことだよな？

I.H: キャッチはまあ、入り口で。。

S.H: これだと「生まれた場所が違うことで起こる差別がある」ってことを肯定している気がする。

小霜：簡単なことを難しくする姿勢は間違い。広告は読者を悩ませてはいけない。

I.H 君は本当に悪いクセがあって、なかなか取れないんだよね。

これ覚えてほしいんだけど、パズルコピーは書きちゃダメ。難しいことを簡単にするのがプロの仕事。

君は、簡単なことを難しくしちゃってる。その姿勢は全然ダメだよ。

「どういうことなんだろう？」って皆も言ってるじゃん。「どういうことなんだろう？」って言われた時点でこれは0点。

もう既に関ってる雑誌の記事だったら「これどういうこと？」って考えてくれるかもしれないけど、広告っていうのは一瞬だから。1秒でパッと見て「意味分かった」って思うか、興味持つか、出会い頭の勝負だからこれはどれもダメ。

読者に期待しすぎ。意味分かんなかったもん。一所懸命考えて「そういうことか」って分かったけど、一所懸命考えることを強いる時点でダメなんだよね。

君の中で「頭のいい人が書いたようなコピーじゃないとダメ」って思ってるところない？

でもそれは逆に頭の悪いことだぞ。

I.H: 普通に言うだけじゃ伝わらないかなと思って。

小霜：広告表現は読む人に親切でなければいけない。自分のエゴをおしつけないこと。

いや、だから俺ずっと言ってるじゃん。それは間違いだって。直してよ。もうプロになったんだから。

その発想とか考え方は大間違いだから。これだったら普通に書いたほうがいい。分かんないよりは分かったほうが絶対にいいんで。

何かフックをつけようと、ひねってみようとかやると難しくなるのは最悪のパターンだよ。

それは本当に直したほうがいい。

だってこれは君のエゴじゃん。「誰も書かないようなコピーを書いてやるぞ」っていうエゴなんだよ。

エゴは捨てたほうがいい。広告表現っていうのは、読む人に対して親切でないといけない。

誰が見てもスツと分かるとかさ。見ることで新しい何かを得られるとか、ちょっと気持ちが高くなるとか、脳に負担をかけさせないとか。

親切心で作らなきゃいけないんだよ。君は親切心がないと思う。

「いい広告表現をつくろう」としてレトリックに知恵を使っても、人には響かない。

「もったいないより、みっともない」っていうのは買い占めのことを言ってるんだよね？

例えばこれがお店に貼ってあって、買い占めに来た人が読んで意味分かるかな。

「買い占めやめよう」っていう抑止力があるかっていうと、ないと思うんだよね。

普通に「買い占めやめよう」って書いてあるものよりも力が劣る。幾段も。

これだったら「買い占めやめよう」って書いてあるほうがよほどいい。

「そのコピー洒落てるね」とか言ってる場合かって話なんだよ。「今買い占め止めないとヤバいぞ」っていう時にレトリックとか考えてる場合なのか？

そういうセンスはよくない。そこが分かんないと、人に響くコピーは書けないと思う。

こういうのを作る時とかは、「なんとか止めさせなきゃ」っていう怒りだったりモチベーションになきゃいけない。

でも「買い占めする奴は最低だ」って言うことが買い占め防止につながるのか、もう少し冷静になって、

「今買わないでも、明日も商品は届きます」って言ったほうが控えるようになるんじゃないかとかさ、

止めさせるためにはどういう情報を与えればいいのかということに知恵を働かせなきゃいけないわけだよ。

レトリックに知恵を働かせている場合じゃない。一つ目も、風評被害が生む差別に対する怒りとか、

なんとかそういうことを抑えなきゃいけないという正義感とかが感じられない。だから共感できないんだよね。

そこが伝われば人って共感する部分があるんだけど、「何か面白いこと言ってやろう」ってことしか感じない。

いい広告表現作って皆から評価されたいなら、「いい広告表現作ろう」って思わないほうがいいと思う。

だって共感するところが違って来ちゃうんだもん。「こいつ面白い広告表現するな」じゃなくてさ、

「こいつ本当にこの商品に惚れてるんだな」とか「本当に差別なくそうしてるんだな」とかっていうところで

共感させたほうがいい広告表現になる。I.H君は妙にショートカットしようとして、

いばらの道に入ってる気がする。これからは教えられないんだけど、親切心を忘れないでほしい。

<M.Hさんの案>



M.H: 自分で考えて自分で選択する事が大事だと訴えたかった。

ゴミが落ちていたら拾うようにして、それが正しいかはまだ分からないけど、「拾おう」と思ったら拾えばいいし、「拾いたくない」と思ったら拾わないという選択もある。今いろいろと問題がある中で、自分で考えて自分で選択するということが大事なんじゃないかと思う。なのでこういうカタチでやってみた。

Y.Y: 「拾ったほうがいい」って促しているわけではなさそうだね。

M.H: やるべきことをやったほうがいい。と伝えたかった。

やるべきだと思うことをやらずに、やりたいことだけをやれることもできる。でもやっぱりこういう状況のときに、「自分のやるべきことをやったほうがいい」ということを伝えたかった。

S.K: 自分は伝わった。自分は A2 だけど、それは自分の選択でそうになっていたんだなと気づいた。

M.S: すぐ考えさせられると思う。でも、拾う気持ちになるかどうかは疑問。

S.M: 少しわかりにくい。ゴミが2つあるから混乱する。

選択肢があるのはパッと見て「おっ」と思うけど、受けを見たときに何だったのかがわからないというのと、ビジュアルがゴミ2つあって、「どっちを拾えばいいのか」みたいな気持ちになるかも。

O.N: ゴミを捨てる人に働きかけた方がいいのでは？

ゴミのポイ捨てをテーマにするんだったら、拾う人にはそもそも何の罪もないわけだから、それよりも捨てる人に何か働きかけたほうがポイ捨ても減るんじゃないかなと思った。

K.T: 電車など、拾わない事が悪い事ではない状況の時に、拾わない人に罪悪感を与えるのでは。

パッと見たときに「拾わない人はよくない」と感じてしまったけど、電車の中に落ちているゴミを拾わないことは悪いことではないと思う。潔癖症で触りたくない人もいるだろうし。そういう人に対して拾わない罪悪感を与えてしまうんじゃないかと。

小霜: いいなと思う点と、どうかなと思う点が混在している。

俺、いいなと思った点と、どうかなと思った点が混在してるんだけど、パッと見てすごく新鮮な感じがあった。表現として新鮮な気がしたんだよね。あとこれ、「A、B」にしなかったのはなんで？

M.H: 「Answer1、Answer2」です。「A、B」だと、「A」が答えになってしまう気がして。

小霜: 「どっちを選択してもあなた次第」という事を明確にすればもっといいのでは。視点は新しい。

「A1、A2」ってしてるのが新鮮に思えた。どうかなと思ったのが、「プラットホーム」を舞台にしていること。「駅員が拾えよ」って感じがする。プロの人が拾うんじゃないような場所がいい。あと、キャッチで二つ対比してるなら押さえコピーまで対比にすると複雑になってしまう。結論がよく分からないっていうふうになるのはイカンと思う。

あと、だいたいこういうのって「拾いましょう」という結論にしがちだけど、
「拾うも拾わないもあなた次第」ってしたのは新しい。委ねるっていうのがね。
M.H 君はビジュアルも含めてセンスあると思うんだ。妙な理屈で自分を疑って普通にならないでほしい。
これから代理店に入るんだよね。
たとえばこういうのを見て「A1、A2 じゃなくて A、B じゃないか」とか言う人もいると思うんだけど、
そうすると丸くなっていっちゃうから、つまらない理屈に引っ張られないほうがいいと思う。
自分のセンスを信じて磨いていってほしい。

<だっちの案>

①

選挙に行くか、行かないか。
「候補者」を選んでいるようで、
「自分の生き方」も選んでるのよ。

(と、カノジョに言われました。)



選挙には、あなたの生き方が出ます。

4月10日 (日) 午前7:00から午後8:00まで

東京都知事選挙

②

そういえば
眠らないあの政治家も、
頼りないあの政治家も、
KY なあの政治家も、
オレらが選んだんだよなあ。



後悔しないために、今のうちに、ちゃんと選んでおきませんか。

4月10日 (日) 午前7:00から午後8:00まで

東京都知事選挙

③

日本経済のためにも、
わが家の家計のためにも、
いいひと選ばなくちゃ。



託せる人を、選んでください。

4月10日 (日) 午前7:00から午後8:00まで

東京都知事選挙

④

こういう時の選挙は、
行くようにしています。



いま、あなたの一票は、本気で重い。

4月10日 (日) 午前7:00から午後8:00まで

東京都知事選挙

⑤

節電も、募金も、献血も、
オレたちあんなにできたんだ。
選挙ぐらい、軽いよなあ。



いい政治家を選ぶのも、ある意味、復興支援です。

4月10日 (日) 午前7:00から午後8:00まで

東京都知事選挙

⑥

うちの会社も
選挙で社長を
えらべたらなあ。



選挙があるって、実はすごい。

4月10日 (日) 午前7:00から午後8:00まで

東京都知事選挙

⑦

政治家を
選べない国だって
あるんだよなあ。



選挙のない国の人に
「選挙に行かない」なんて、言えますか？

4月10日 (日) 午前7:00から午後8:00まで

東京都知事選挙

⑧

こういう時に
ヘンな政治家だと
大変だしなあ。



ちゃんとした人を、ちゃんと選んでくださいな。

4月24日 (日) 午前7:00から午後8:00まで

統一地方選挙

S.M: 普段の選挙の「投票しましょう」っていうのは固いのが多いから、こういうトーンはいいと思った。

Y.T: いちばん動きそうなのは4つ目の「こういう時の選挙は～」かな。

S.K: 同じくそう思った。

Y.Y: でもこういう時にでも行かない人もいるし、どれくらいまでいったら「こういう時」になるのかっていう。

K.T: 私は、⑤の落としの「いい政治家を選ぶのもある意味、復興支援です」っていうのがいいと思った。
誰かのために投票するというのは今までなかった気がするので。

Y.Y: 5つ目は褒めから入っているのが新鮮かなと思った。

H.YO: 自分は2つ目の「KYなあの政治家も」っていうのが、
行かないことで変な人が選ばれてしまうという気持ちになって行動につながるんじゃないかと思う。

小霜: 自分への直接的メリットがない場合、情動にどうやって訴えかけるかが大切。

さっきのユニセフもそうだけど、募金って自分への直接的なメリットがないよね。
選挙もそう。直接メリットのないことに対して理屈で説き伏せようとしても無理な気がする。
「あなたの一票が世の中を変えるかもしれない」とか、選挙に行かせるための理屈はいくつかあるよね。
でも、選挙に行かせるには理屈だけでは効かないと思う。
さっきの「無意識がアクセルを踏んで、理性がブレーキを踏む」という話でいうと、
情動に訴えかけるにはどうすればいいのかと考えてみる。例えば「ヤシマ作戦」っていうのを考えると、
「エヴァンゲリオン of ヤシマ作戦だ、さあ節電するぞ」と言って皆が節電したじゃない？
あれは理性を超えたお祭り感というか、皆でつながったりする連帯感が気持ちよかったんだと思うんだよ。
熱狂的になった。だったらさ、例えばこの中でいうと、
5つ目の皆でつながってやる = 気持ち良いというふうに読めた。
「選挙も復興支援」って言われても気持ちがあがってこないんだけど、
「節電したよね、募金したよね、献血したよね、じゃあ選挙も」って言われたら「やるか」ってなるかも。
そういうところに持っていけないかと。だから、「皆で選挙をやっている政治家を選ぶ」っていうことを、
「次は～作戦だ」って言うてみるとかね。かなり若い人を意識しすぎてるかもしれないけど、
選挙に行かせる新しい仮説として、「一票の重み」みたいなことを言うんじゃないかと、
「皆でつながろうぜ」とか「皆でひとつのことをやろうぜ」みたいな気持ちの上げ方があるんじゃないかな。
今のこの熱狂を活かして「パーティーはまだ終わっていない」とかさ（笑）
「え、もうパーティーから帰っちゃうの？」とかね。パーティーってそういうものじゃない？
何が起きるか分からないけど、その場にいれば何か起きるかもしれない。
何か皆でいることでの気持ちよさ、同じ空気を共有してる気持ちよさ、帰っちゃう寂しさとか。
人間の無意識でいうと、「皆で節電しよう」っていうのも近いかもしれないよね。
そこの無意識に訴えかけつつ、「不謹慎だ」と言われないような表現を考えていく。

【最後に】

小霜: 人の気持ちを動かすことは、人の事を考えて、心の奥底を刺激する事。人間はとても難しい。

今回、最後の課題として公共広告というテーマでやったけれども、人の気持ちを動かすのは上辺のものではないんだよね。人の心の奥には何が渦巻いているのかを想像して、そこを刺激するところから発想して表現していくといいんじゃないかな。

「この商品はこういうベネフィットがあるからこういうふうには言えればいいんだ」とか、今回は
答えがポンポン出るものじゃなかったけど、どんな企画をするときも「人間というのは難しいものなんだ」
「そんな簡単には動かないんだ」と、どこかでそういうことを思いつつ、やってほしいな。
ということで、第三期の講義終了です。

一同) ありがとうございます。